2012年３月23日

各　位

会 社 名　イ オ ン 株 式 会 社
代表者名　取締役兼代表執行役社長　岡田 元也
（証券コード　8267）
問合せ先 執 行 役　社 長 室 責 任 者　平林　秀博
（電話番号　043-212-6042）

当社子会社（株式会社コックス）の業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、当社連結子会社である株式会社コックス（ＪＡＳＤＡＱ：コード9876）が、2011年12月27日に公表した2012年２月期（2011年２月21日～2012年２月20日）の通期業績予想を添付資料のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

尚、本件による当社の連結業績予想の変更はありません。

以　上

平成 24 年 3 月 23 日

各　位

会 社 名　　株式会社コックス
代表者名　　代表取締役社長　　池内　清和
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９８７６）
問合せ先
常務取締役経営管理本部長　　髙野　秀明
ＴＥＬ０３（５８２１）６０７０

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年２月期（平成 23 年２月 21 日～平成 24 年２月 20 日）の通期業績予想について、平成 23 年 12 月 27 日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 24 年２月期（平成 23 年２月 21 日～平成 24 年２月 20 日）連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	25,070	△800	△640	△1,510	△54.80
今回修正予想　（Ｂ）	24,590	△1,060	△900	△1,850	△67.13
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△480	△260	△260	△340	―
増　減　率　（％）	△1.9	―	―	―	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年２月期）	23,573	13	149	△278	△14.03

２．平成 24 年２月期（平成 23 年２月 21 日～平成 24 年２月 20 日）個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	25,000	△740	△580	△1,450	△52.62
今回修正予想　（Ｂ）	24,530	△990	△830	△1,780	△64.59
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△470	△250	△250	△330	―
増　減　率　（％）	△1.9	―	―	―	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年２月期）	23,534	56	191	△293	△14.81

３．修正の理由

＜通期の取組課題＞

当期は、今後の成長戦略実現のために主要三世代ブランドの確立とマザーブランド「ＣＩＱＵＥＴＯ」化推進のリブランディングを進めるとともに、中国事業とＥコマース事業の基盤確立、ＳＰＡ事業プラットフォームの確立、大都市出店、シニアブランド実験、リストラクチュアリング完了など、中期経営計画に従った構造的な変革を進めてまいりました。

＜第４四半期の概況＞

第４四半期におきましても、引き続き、

・リブランディングの成功事例が都市部で顕著なことから、主要三世代ブランドの都市部のファッションビル・ＲＳＣへシフト、小商圏ＳＣはカレント業態へのシフトを推進
・２０１２年春期に成功事例を取り込んだ活性化・出店を拡大するための店舗開発活動
・改装店舗の拡大とそれに伴う売り尽くしセールの前倒し実施
・リブランディングに対応した販売力の向上
・アジアシフト、Ｅコマースの一層の強化
・更なるＭＤ修正力の向上、年末における梅春商品の追加投入等に取り組んでまいりました。

しかしながら、リブランディングにおいて、主要３ブランド間の成果のバラツキが大きいこと、新店・改装店舗において成果をだすものの、地方小商圏ＳＣの既存店舗において、売上を大きく落としたことにより、売上高は計画比７ポイントダウンしました。

営業総利益率は、前年よりは 2.7 ポイント上昇させたものの、寒暖の差が激しかったことによるアウター不振から売価変更が増加し、計画を 1.5 ポイント下回りました。

以上の結果、営業総利益は目標を３億 56 百万円下回り、投入人時のミニマム設定・本社スリム化の推進などを通じた経費削減に努めたものの、営業総利益の不足をカバーするにはいたりませんでした。

こうした第４四半期の業績の結果、通期の連結業績は、営業収益 245 億 90 百万円、営業損失 10 億 60 百万円、経常損失９億円、当期純損失 18 億 50 百万円と当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の個別業績の修正についても連結と同様の理由です。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上